

各位

一般社団法人日本ダクティル鉄管協会  
関東支部

## 平成30年度日本ダクティル鉄管協会(関東支部)セミナーのご案内

皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は日本ダクティル鉄管協会に対し格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当協会関東支部では、毎年水道事業体の皆様方等を対象にセミナーを開催しており、好評いただいております。本年は下記の要領で実施しますので、何かと御多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

### 記

1. 開催日 平成30年8月30日(木) 13時30分～16時30分 別添資料-1  
(受付は12時30分より)

2. 開催場所 JA長野県ビル 12階 12A会議室 別添資料-2-1

### 3. 講演テーマ及び講師

①特別講演Ⅰ 『現場における危機管理対応 ～頻発する管路事故、工事事故の原因と再発防止～』

公益社団法人 日本水道協会 工務部技術課  
技術専門監 田口 恒夫氏

②特別講演Ⅱ 『水道の現状と管路システムに関する最近の動向』

首都大学東京大学院 都市環境科学研究科 特任教授  
首都大学東京 水道システム研究センター センター長  
工学博士 小泉 明氏

### 4. 展示コーナー

当日は各メーカー等の展示コーナーを設けております。ご自由にご覧頂く事ができます。

別添資料-2-2

5. 参加費 無料(交通費は各自でご負担願います。)

### 6. 参加申込方法

参加希望者の所属、氏名をご記入の上、7月31日(火)までに、ファックスにより、別紙参加申込書・質問等を送付下さい。

別添資料-3-1、3-2

### 7. 連絡先

参加申込に関しては

(連絡先) 一般社団法人日本ダクティル鉄管協会 関東支部 宍倉

〒102-0074

東京都千代田区九段南四丁目8番9号

Tel 03-3264-6655

Fax 03-3264-5075

ご不明な点がございましたら、下記連絡先までお問い合わせ下さい。

(連絡先) 株式会社栗本鐵工所東京支社 鉄管事業部 東京営業2課 小山

〒108-0075

東京都港区港南2-16-2

Tel 03-3450-8512

Fax 03-3450-8515

## セミナースケジュール

| 時 間                  | 内 容   | 担当または講師   |
|----------------------|---|---|
| 12:30~13:30          | 受 付<br>※講演までの間、展示コーナーをご覧ください。   |   |
| 13:30~13:35          | 開会挨拶  | 一般社団法人日本ダクタイル鉄管協会   |
| 13:35~14:45<br>(質疑含) | <p>《特別講演Ⅰ》</p> <p style="text-align: center;"><b>現場における危機管理対応<br/>～頻発する管路事故、工事事故の原因と再発防止～</b></p> <p>【説明概要】<br/>現役の一時期、道路管理者等との窓口的な業務を担当していた。<br/>「水道局は事故時の対応が不徹底だ。道路上の水道工事は全て止める」。道路管理者から強烈な一言。結局、局内全ての工事部署に向き、工事監督員や現場代理人を集め、事故発生時の対応を周知することで「事無き」を得た。<br/>2箇月程の間に15箇所近くに足を運んだと記憶している。<br/>事故防止も同様、理解を深めるためには直接語り掛け、啓発を繰り返すことが重要だと考えます。セミナーでは、事故に繋がった要素や、事故に繋がらないポイントの一部でもお話し出来ればと思います。</p> | <p>公益社団法人 日本水道協会<br/>工務部技術課</p> <p style="text-align: right;"><b>技術専門監 田口恒夫氏</b></p>  |
| 14:45~15:15          | 『展示コーナーの紹介及び休憩』   |   |
| 15:15~16:25<br>(質疑含) | <p>《特別講演Ⅱ》</p> <p style="text-align: center;"><b>『水道の現状と管路システムに関する最近の動向』</b></p> <p>【説明概要】<br/>我が国における水道の現状を述べるとともに、管路システムに特化した産官学共同研究について概要を分かり易く講演したいと思います。特に、今後の水道施設の耐震化や計画的な管路更新は喫緊の課題だと思っていますので、その重要性に焦点を当てて説明する予定です。<br/>また、水道技術研究センターにおける15年間に及ぶ産官学共同研究を取り上げ、今回のRAINBOWSプロジェクトに至る5プロジェクト(3年毎)について要点をお話し、管路システムの研究動向を明らかにします。</p>   | <p>首都大学東京大学院<br/>都市環境科学研究科 特任教授</p> <p>首都大学東京<br/>水道システム研究センター センター長</p> <p style="text-align: right;"><b>工学博士 小泉 明 氏</b></p> |
|                      | 閉 会   |   |

## 会場のご案内

### ■ 会場名

JA長野県ビル 12階 12A会議室  
長野市大字南長野北石堂町1177-3  
TEL 026-236-3600



### ■ 交通アクセス

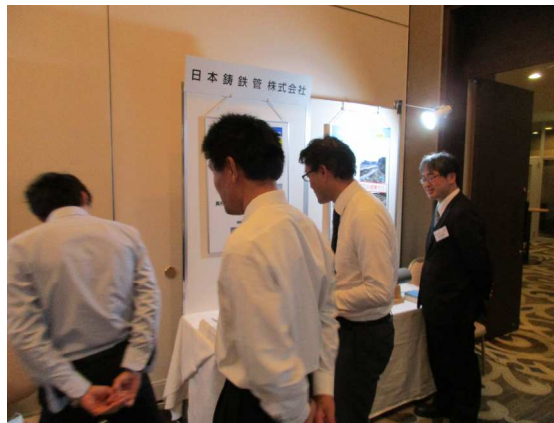
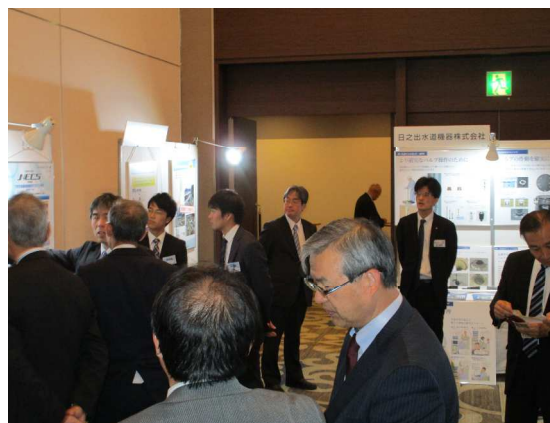
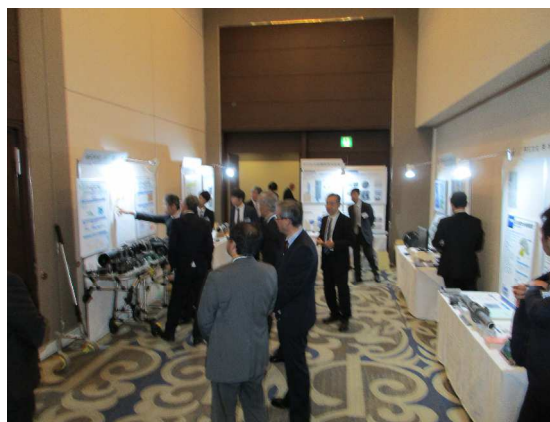


- JR長野駅から徒歩10分
- 長野インター・須坂長野東インターからそれぞれ車で30分
- 130台収容の有料駐車場完備

## 昨年の長野県会場の様子

### 展示コーナー

昨年は、6つのブース（会員会社5社+鉄管協会）で製品等の展示をしました。今年も内容を益々充実させ、皆様に耳よりの情報をお届けいたします。今年は12時30分から展示コーナーをじっくりとご覧いただけます。ひやかし大歓迎です。日本ダクタイル鉄管協会の世界をお楽しみ下さい。



### セミナー

昨年長野県会場は52名の方にご参加いただきました。質疑応答も活発におこなわれ、熱気に満ちたセミナーでした。



別添資料—3-1(長野県会場)

一般社団法人  
日本ダクタイトル鉄管協会  
宍倉 宛

FAX 03-3264-5075

平成30年度日本ダクタイトル鉄管協会関東支部 セミナー申込書

- ◇開催日 8月30日(木)
- ◇開催場所 JA長野県ビル
- ◇参加希望者の所属名、氏名を下記の表にご記入願います。
- ◇返信依頼期日;7月31日(火)

| 所属名 | 氏名 | 水道経験年数                                |
|-----|----|---------------------------------------|
|     |    | 事務系・技術系<br>～5年・6～10年<br>11年～20年・21年以上 |
|     |    | 事務系・技術系<br>～5年・6～10年<br>11年～20年・21年以上 |
|     |    | 事務系・技術系<br>～5年・6～10年<br>11年～20年・21年以上 |
|     |    | 事務系・技術系<br>～5年・6～10年<br>11年～20年・21年以上 |
|     |    | 事務系・技術系<br>～5年・6～10年<br>11年～20年・21年以上 |
|     |    | 事務系・技術系<br>～5年・6～10年<br>11年～20年・21年以上 |
|     |    | 事務系・技術系<br>～5年・6～10年<br>11年～20年・21年以上 |
|     |    | 事務系・技術系<br>～5年・6～10年<br>11年～20年・21年以上 |
|     |    | 事務系・技術系<br>～5年・6～10年<br>11年～20年・21年以上 |
|     |    | 事務系・技術系<br>～5年・6～10年<br>11年～20年・21年以上 |

◇貴事業体等の連絡先

・事業体等の名称

・参加申込代表者の氏名  
(問合せ窓口)

・E-mail

・電話番号

・FAX番号

一般社団法人

日本ダクタイトイル鉄管協会 宍倉 宛

FAX 03-3264-5075

## 貴事業体名

◇当日の講演内容への要望、質問等。また、講演と無関係だけど講師の先生へ一度聞いてみたかった事など、この機会にどうぞお書き添えください。

日本水道協会 田口恒夫様  
《現場における危機管理対応 ～頻発する管路事故、工事事故の原因と再発防止～》への  
要望・質問等

首都大学東京大学院 小泉先生  
《水道の現状と管路システムに関する最近の動向》への要望・質問等

日本ダクタイトイル鉄管協会・展示コーナー への要望質問等

例) 接合の様子が見たい